



# 山形県パイロット事業 【進捗状況の概要】

資料 1

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実証実験、④検証等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

 : 実施済み項目

 : 実施予定項目

## 現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

発荷主（農業関係）A  
元請運送事業者ア  
下請運送事業者イ  
着荷主（仲卸会社）a  
コンサルタント



## 課題の洗い出し

集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 集荷時間の遅さ
  - ・18、19時以降に集荷にいかなければならない場合がある。
- 集荷・配荷が複数箇所ある場合の待ち時間の増加
  - ・集荷・配荷場所が複数ある場合は、それぞれで待ち時間が発生し、拘束時間が長期化しやすい。
- 市場の荷受け方法の煩雑さ
  - ・仲卸ごとに荷受け方法が異なる。
  - ・駐車スペースが確保できないと待機時間が長くなってしまう場合がある。

## 解決手段の検討

＜提案内容＞

- ①元請運送事業者アのストックポイントの拡充
- ②出荷時間の変更（統一・前倒し）
- ③荷受者の受け付け方法の統一の要請

↓  
＜第2回検討会における結論＞

- ◎ 集荷場所となる集荷場等と配荷する市場等を集約する

## 最も厳しい環境を想定したシミュレーション

最もトラック運転者の労働環境が厳しくなる商品の出荷実績をもとに、改善案・検証を行う  
（第2回事業場訪問による状況分析証）

検討・検証  
（第3回検討会）

← 8～11月

12～1月頃

2月以降

## 1. パイロット事業の経過

- 第1回検討会 平成28年8月3日（金）に実施
  - ・トラックドライバーの労働時間に関して自己診断できるチェックリストを配付・説明を行った。
  - ・季節によって取り扱う商品が異なり、トラックドライバーの運行状況も異なることから、最も厳しい労働条件となっている商品の輸送をイメージしてチェックリストの作成を行うことを依頼した。
- 事業者訪問（1回目）平成28年9月23日（金）に実施
  - ・実運送事業者イへの事業場訪問を行った。
- 第2回検討会 平成28年11月18日（火）に実施
  - ・今後の改善に向けた取り組みの方向性について検討を行った。

## 2. トラック運送の実態と課題

- 商品の出荷状況
  - ・輸送に使用する車両は前日にオーダーされるが、当日の午前中まで具体的な場所・時間・品目・輸送量等の情報は分からない。要因としては、生産地域ごとに出荷時間がバラバラで、出荷情報の提供が遅い集荷場等からの情報が入るまで、出荷先の詳細情報を確定できないことが考えられる。
- 課題
  - ①集荷時間の遅さ：18時以降の集荷は厳しい労働条件となりやすい
  - ②集荷・配荷の箇所数：届先の市場等を複数箇所配荷することは非常に難しい。1箇所当たり30分から1時間待つので、複数箇所以降ると単純に倍々になっていく。
  - ③市場の荷受け方法：仲卸によって荷受け方法が異なるので、対応が難しい。

### 3. ドライバーの運行記録例

- 下記は、集荷（荷積み）場所が3箇所、配荷（荷下ろし）場所が2箇所の運行例である。
- 荷積みが完了した時間が17：40と、かろうじて18時を過ぎていないことにより、運転時間4時間内で休憩時間30分以上、休憩時間8時間以上を確保することが可能となっている。

作業	場所	日時(開始)	日時(終了)	所要・作業時間	走行距離
運転	山形市	3/ 14:39	3/ 15:16	0:36	9.78
荷積み	山形市	3/ 15:16	3/ 15:16	0:00	
運転		3/ 15:16	3/ 15:33	0:16	9.29
荷積み	山形市	3/ 15:33	3/ 17:12	1:39	
運転		3/ 17:12	3/ 17:40	0:27	6.09
荷積み	中山町	3/ 17:40	<b>3/ 17:40</b>	0:00	
運転		3/ 17:40	3/ 20:55	3:14	—
<b>休憩</b>	<b>大谷PA</b>	<b>3/ 20:55</b>	<b>3/ 21:25</b>	<b>0:30</b>	
運転		3/ 21:25	3/ 22:58	1:32	398.18
荷下ろし	江戸川区	3/ 22:58	3/ 23:24	0:26	
運転		3/ 23:24	4/ 00:14	0:49	36.11
荷下ろし	横浜市神奈川区	4/ 00:14	4/ 02:13	1:59	
運転		4/ 02:13	4/ 02:59	0:45	—
<b>休息</b>	<b>横浜市中区</b>	<b>4/ 02:59</b>	<b>4/ 11:14</b>	<b>8:15</b>	

#### 4. 改善提案と関係者による検討状況

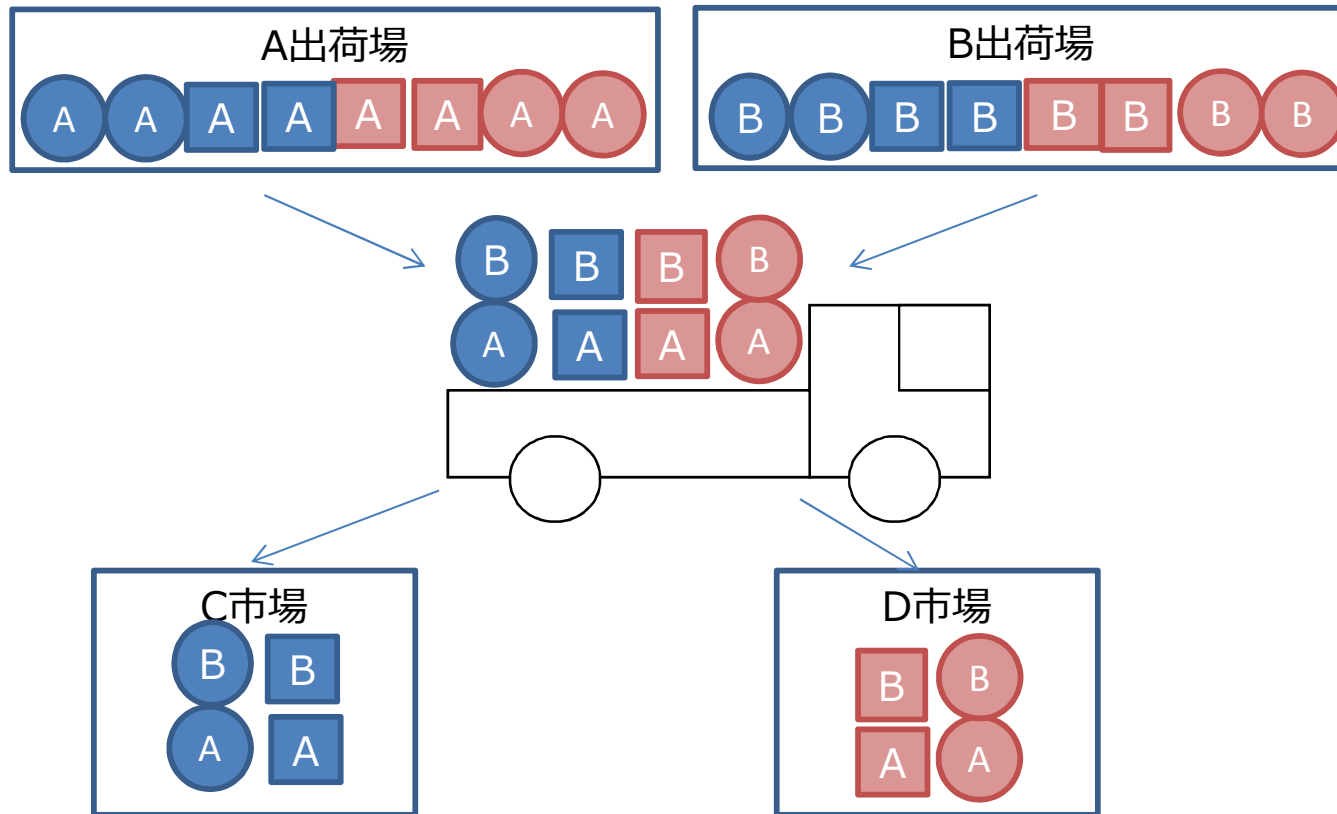
提案項目	提案内容	関係者の意見	今後の方向性
①元請運送事業者アのストックポイントの拡充	ストックポイントを確保し、集荷・配荷場所を集約して1箇所ずつとする	商品が衝撃や振動に弱いため、輸送回数を増やすことは容認できない	採用しない
②出荷時間の変更（統一・前倒し）	出荷側の集荷時間の統一（遅い地域の早期化）	生産者にとって販売先の選択肢は複数あり、出荷締め切り時間等のサービスレベルの低下により、調達先として確保できなくなってしまう懸念がある	採用しない
②荷受者の受け付け方法の統一の要請	市場の荷受け場所の混乱については、トラック運送事業者側だけの問題ではないので、仲卸を中心とした市場全体での改善の要請を行う	まずは、自分たちでできることをやる	採用しない

#### 5. 今後の取組内容について（詳細イメージは次ページ参照）

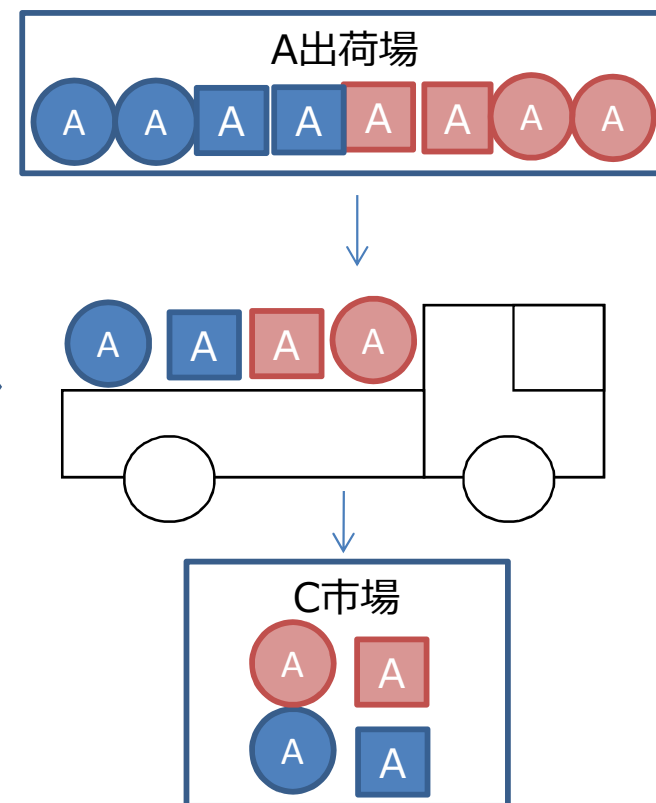
- 提案内容は、それぞれ課題があり、代替案として下記が提案され、具体的な検討を行うこととなった。
- ・仲卸や小売業は、商品を確保するために、複数の生産者から買い付けを行うことが多い。その結果、複数の出荷場から調達を行うこととなり、複数箇所での集荷が必要となる。
- ・そこで、買い付け先を市場単位で集約することで、集荷場所及び配荷場所を1箇所にすることを目指す。

## 5. 今後の取組内容について（詳細イメージ）

現状



取り組みのイメージ



## 6. 今後の進め方について

- 第2回事業場訪問
  - ・出荷場所と配荷場所のデータを持つ元請運送事業Aを対象に事業場訪問を行う（12～1月）。
- 第3回検討会
  - ・短縮できるドライバーの作業時間を試算し、評価・検証する（2～3月ごろ）。